

令和6年度第3回白井市指定管理者選定審査会 会議録（概要）

1. 開催日時 令和6年7月24日（水）午後1時15分から午後5時
2. 開催場所 白井市役所本庁舎4階 大委員会室
3. 出席者 寺嶋会長 清水副会長 坂巻委員 山下委員
4. 欠席者 上田委員 中川委員
5. 事務局 公共施設マネジメント課 鈴木課長 八木主査 鈴木主事
生涯学習課 西口課長 中原係長 三橋主査補
子育て支援課 山崎主査補
高齢者福祉課 増田主任主事
6. 申請団体 日本メックス株式会社（3名）
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団（3名）
7. 傍聴者 なし（非公開）
8. 議題 議題1 白井市学習等供用施設の指定管理者の選定及び答申について
議題2 白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定について
9. 議 事

●事務局

それでは、定刻より少し早いですが、皆さんおそろいなので、ただいまから令和6年度第3回指定管理者選定審査会を開催いたします。

本日はお忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。

本日のスケジュールは、次第に基づき二つの議題について審議し、17時15分の終了を見込んでおります。

なお、本会議は、審査に関する情報のため非公開です。

また、本日は、上田委員と中川委員が所用のため欠席される旨の御連絡を頂いておりますが、過半数の委員の出席により、会議が成立していることを御報告させていただきます。

それでは、開会に当たりまして、寺嶋会長から御挨拶をいただきます。寺嶋会長、よろしくお願いします。

●会長

本日は、急な大雨の中、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。本日は2社競合がありますので、しっかりと比較した上で審査していきたいと思っております。よろしくお願いします。

●事務局

寺嶋会長、ありがとうございました。

それでは、ここで本日の資料を確認いたします。一番上に次第がございまして、スケジ

ジュールが載った資料が1枚ございます。資料1が答申の案でございます。続きまして、資料2が、本日の駅前センターの審査票の案になります。最後に、日本メックス株式会社とワーカーズコープ・センター事業団の価格評価点数の計算式が載っているものが2枚あります。

また、先日送付させていただきました募集要項、申請団体からの申請書、条例はお持ちいただいていますでしょうか。

では、続きまして、本日の審査会の出席者を御紹介します。

本日は、白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定を行います。施設の所管課であります生涯学習課、西口課長です。

●生涯学習課長

生涯学習課長の西口です。よろしくお願いします。

●事務局

担当の中原係長です。

●生涯学習課

中原です。よろしくお願いします。

●事務局

同じく、担当の三橋です。

●生涯学習課

三橋です。よろしくお願いします。

●事務局

駅前センター内の児童館の担当で、子育て支援課から山崎です。

●子育て支援課

山崎です。よろしくお願いします。

●事務局

駅前センター内の老人憩いの家の担当で、高齢者福祉課から増田です。

●高齢者福祉課

増田です。よろしくお願いします。

●事務局

本日は、このような体制で審議をお願いしたいと思います。生涯学習課の職員は、議題2で白井駅前センターの指定管理者の募集について説明を行います。

それでは、これから議事進行を会長にお願いし、議題に入ります。会長、よろしくお願いします。

●会長

では、お手元の次第により、議題に入りたいと思います。

初めに、議題1、白井市学習等供用施設の指定管理者の候補者の選定及び答申について、

事務局から説明をお願いします。

●事務局

議題1、白井市学習等供用施設の指定管理者の候補者の選定及び答申について御説明します。右上に資料1と書かれた資料を御覧ください。

指定管理者の候補者の決定のフォーマットに、前回の審議結果と、提案していただいた選定理由を加えて作成したものになります。

1枚目は表紙ですが、市の答申の様式となっております。

1枚めくっていただきまして、2枚目は、こちらも今までの定型的な表現となっておりますが、2段落目に、サービス等の評価点数が最低評価点数、5点掛ける15項目、5人掛ける5人の375点を上回っていること、また、審査項目としては15番になりますが、団体の経営状況については、委員の平均点が採点基準である5点以上であること、つまり5掛ける5の25点以上であることが条件となりますが、26点であり、選定条件を満たしていることを記述しております。この2点について記述した上で、特定非営利活動法人富士センター運営協議会を指定管理者の候補者として答申することとしております。

続きまして、3枚目、御覧ください。

こちらの点数につきましては、事務局で前回提出していただいた審査結果を入力し、確認しております。

上段の主な選定理由を御覧ください。選定理由の1点目としては、指定管理者としての実績に基づいた自主事業が提案されており、まちづくり協議会の地域拠点として期待ができる。今後もさらなる新事業の開拓に期待する。2点目は、地域を元気にしたいという地域住民ならではの思いが強く感じられる。3点目は、事業計画は地域との関わり、結びつきや世代間の交流を強く意識した事業計画となっており、事業を通じた地域や世代間の連携が期待できる。

以上が前回、委員の皆様にご提案いただいた選定理由となります。

答申案について、説明は終了します。答申案の決定をお願いします。決定いただいた後は、例年どおり、文書で市長に答申を行います。

なお、前回御質問いただいております事業者に対して注意事項等を意見することができないかということにつきましては、選定審査会から直接事業者へというのは、事務分掌上できないので、選定審査会から答申とは別に、意見書として市長へ提出していただき、市から事業者へ助言するような方向というのを考えられます。

以上となります。

●会長

ありがとうございました。

では、委員の皆様で、事務局が作成した答申案について、修正や内容を確認したい箇所がありましたら、質問をお願いいたします。質問は、挙手の上で、指名された後にお願い

いたします。いかがでしょうか。

私から、事業者に直接意見をするというのは、基本的に難しいということですよ。市長への意見書を經由して市からという方法があるという話ですが、これは前例的には何かあるのですか。

●事務局

個別の事業者に対してというのはないのですけれども、全体的な意見として、こういうことを注意してほしいということで、意見をもらった事例は過去にはありますが、個別の事業者というよりは、市に対して、こういうところを注意してほしいみたいな意見という形でもらったことはあります。

●会長

前回の感じだと、どっちかという事業者に対して、気をつけて運営してほしいという話を伝えられないと、なかなか難しいかなとは思っていますので。

基本的には、市長の意見書を附帯するという形でやっても、市側が気をつけることではない感じなので、あまり実効性はないかなと率直に言うと思うのですが、いかがでしょう。

今回は見送りですかね。我々の職務範囲では、どうしようもないところかと思うので。強いて言えば、前回申し上げましたけれども、こちらの業者については、経営上、万が一があったら危ないかもしれないということは念頭に置いて、具体的に言うと、市での自主経営も、場合によってはあり得るということは、考えておいていただけるといいのかなというぐらいですかね、我々の見解としては。

答申案については大丈夫ですか。

では、以上の結果を基に、答申案として決定という形にしたいと思います。

●事務局

ありがとうございました。

大丈夫ですか。

●会長

大丈夫です。

●事務局

ありがとうございました。本日付で答申いただくことといたします。

●会長

では、続きまして議題2です。白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定について、事務局から説明をお願いいたします。

●事務局

議題2、白井駅前センターの候補者の選定について、事務局から説明いたします。

本日、この議題で決定いただきたいのは、一つ目が審査票の決定、二つ目が指定管理者の候補者の選定となります。

それではまず、審査票について御説明を行います。お手元の資料2を御覧ください。

資料2は、前回の白井市学習等供用施設の審査票と同じものとなっております。サービス等の評価点数の配点は、10点が13項目、5点が2項目で140点満点となります。また、総評価点数は156点満点となります。審査票の決定について、御審議願います。

●会長

では、委員の皆様で、審査票の内容についての質問や事務局に内容を確認したい箇所等ありましたら、質問をお願いいたします。いかがでしょうか。

では、問題がないようですので、資料2のとおり審査票を決定することといたします。

では、事務局のほうから審査票の配付をお願いいたします。

●事務局

ありがとうございます。それでは、審査票を配付いたします。少しお待ちください。

ただいま配付させていただいた審査票には、申請団体名と提案額の審査の点数(15)のところに、2団体それぞれ、あらかじめ入っているものとなります。

審査票の説明は以上です。

●会長

では、審査方法について、事務局に確認することはございますでしょうか。大丈夫ですか。

●事務局

大丈夫ですか。

●会長

では、審査に入りたいと思います。事務局のほうから説明をお願いします。

●事務局

それでは、白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定に関する審査について御説明いたします。

初めに、候補者の選定に当たり、施設担当課の生涯学習課から、本日審査する白井駅前センターがどのような施設なのか、その施設の設置目的と概要について、指定管理者を募集するに当たり、市がどのような募集をかけ、どんな団体から申請があったか、応募資格や提出書類に不備はなかったのかについて、説明をしていただきます。

それでは、西口課長、よろしくお願いします。

●生涯学習課長

それでは、白井駅前センター指定管理者選定審査に関して御説明させていただきます。資料、白井市白井駅前センター指定管理者募集要項を御覧ください。

まず、施設の設置目的及び概要についてですが、本施設は、昭和54年から始まった千葉ニュータウン事業を契機として整備されたもので、市の中心に当たる北総鉄道白井駅前に位置しており、公民館、児童館、老人憩いの家からなる複合施設で、昭和61年4月より

業務を開始しております。構造等につきましては、募集要項の1ページの2番、施設の概要に記載のとおりとなります。

管理運営の基本方針は、4ページの3、施設の管理運営方針を御覧ください。市民のコミュニティ活動や連帯意識を醸成する場として、施設の機能等を有効に活用し、利用者に対する柔軟なサービス提供や各種講座の充実、実施などを図ることとしています。

業務内容につきましては、17ページの2番、指定管理者が行う業務を御覧ください。主な業務については、公民館、児童館、老人憩いの家、図書室に関する様々な業務のほか、施設の維持管理などとなっております。

指定期間と指定管理料の見込み額についてですが、戻っていただいて5ページです。5ページの5番、指定の期間を御覧ください。指定期間は令和7年4月1日から、令和12年3月31日までの5年間としています。

指定管理料につきましては、6番、経費に関する事項を御覧ください。5年間の指定管理料として、1億9,277万5,000円を見込んでおります。

続きまして、募集及び選定についてです。募集要項の7ページ、8番、指定管理者の募集及び選定スケジュールを御覧ください。

募集要項等は5月15日から配布、現地説明会を5月21日に実施し、申請書の受付開始を6月13日から6月21日までとしたスケジュールで行いました。

なお、5月21日に実施した現地説明会には3団体の参加があり、そのうち2団体から6月20日付で申請がありました。

申請者の資格につきましては、6ページの7番、応募の資格を御覧ください。国内事務所等を有し、指定期間中、この施設を安全かつ円滑に管理運営できる法人及び団体としております。申請がありました2団体とも、国内に事務所を有しており、申請者資格に該当する団体であることを確認しております。

また、制限事項に関しまして、国税、地方税を滞納している法人など、8項目の制限事項を設けておりますが、7番、応募の資格(2)制限事項に示している項目の該当はなく、また、誓約書の提出がされており、適合していることを確認しております。

なお、提出資料については、8ページの11番、申請の手続で示しております。申請書、事業計画書、収支計算書などの書類におきましては、全て整っております。今回申請のありました2団体のうち1団体は、白井駅前センターの現在の指定管理者である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団、もう1団体は、白井市においては初めての申請となります日本メックス株式会社となります。

以上、指定管理者の選定を行うに当たり、白井市公民館の設置及び管理等に関する条例第12条及び白井市児童館の設置及び管理等に関する条例第12条の規定により、指定管理者選定審査会の意見を聞きたいため、審査をお願いいたします。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

●会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

では、私から1点なのですけれども、募集要項の5ページの直近3年度分の経費のところで、令和4年度と5年度について、特に、恐らく人件費が400万ぐらいアップした形で、その結果、ほかは抑えられているのですけれども、歳出のほうが多いという形になっているのですが、これはワーカーズコープさんのほうの人員配置の不適正というのを反映して、人員が増員されたみたいなのがあったという理解でいいのですか。この辺りの実態は何か伺っていますか。

●生涯学習課

お答えいたします。正直、このことに対してピンポイントで回答できる情報というのは頂いていないのですけれども、この4年度が以前聞いた理由に該当するか、コロナの関係もあるので分からないのですが、コロナのときに、清掃員等を増員して人件費が上がったということ聞いたことがあります。それが、5年度、4年度に該当するかどうか具体的に聞いたことはありません。

●会長

分かりました。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。何か質問等ありますでしょうか。

●〇〇委員

駅前センターは、以前も聞いたかもしれないのですけれども、修繕というのは、直近でいつやったのでしょうか。大規模修繕的なものって、結構建物も古いと思うのですけれども、その辺って分かりますでしょうか。

●事務局

大規模修繕は予定がまだ、実際、思うようにいってなくて、少し遅れ気味になっている状況で、直近でやったのが、正確に何年かというのは、今、資料がないので、すみません。やる予定にはなっているけれども、実際まだ延期、延期で決まっていない状況になっています。

●〇〇委員

前回やった、いつというのはいいのですけれども、どんなところを直したかとかというのは。

●事務局

ごめんなさい、それも資料がなくて、すみません。今、正確に答えられないので、後で調べて回答します。

●〇〇委員

お願いします。

●生涯学習課

先ほどの人件費のところ、よろしいですか。

●会長

はい、お願いします。

●生涯学習課

先ほど答えたように、直接聞いたわけではないのですが、手元に3年間の実績がありますので、そちら今確認したところ、人件費の内訳として、常勤が令和3年度は6名だったのですが、4年度、5年度については常勤が7名に増えております。あと、非常勤のほうが、令和3年度が非常勤8名で、令和4年度が非常勤9名で、令和5年度が非常勤10名という形で人員が、入れ替わりもあったのかもしれないのですが、常勤は常ということなので、1名分増えているかと思います。

以上です。

●会長

分かりました。ありがとうございます。

その他、質問等いかがでしょうか。

お願いします。

●〇〇委員

〇〇です。この駅前センターの中に図書館とか、あと老人憩いの家、子育て支援課関係、それぞれ入っているのですが、この中にも書いてあるのかもしれないのですが、それぞれの施設で、職員の配置基準なんていうものはありますか。例えば図書館でしたら、司書さんは資格ある人が1人とか、そういうような、あるのでしょうか。

●生涯学習課

お答えいたします。募集要項の24ページに人員の配置についてという表がありまして、その中で、管理責任者が1名、副管理者または事務職員が1名、管理責任者については、防火管理者の資格が必要と。副管理者または事務職員については、社会教育士または社会教育主事の資格が必要。児童厚生員については2名で、常勤が最低でも1名、非常勤も専任であれば可ということで、児童厚生施設の設備に関する、運営に関する基準に従って、児童厚生員を置いております。

また、司書については1名常勤、または非常勤で、司書の資格が必要ということで設けてございます。

以上です。

●〇〇委員

どうもありがとうございます。

●会長

ありがとうございます。その他、御質問いかがでしょうか。大丈夫ですか。

では、事務局のほう、続きをお願いいたします。

●事務局

それでは、これより5分間の休憩といたします。休憩後、申請団体の準備が整い次第、審査に入りたいと思いますので、1時45分までに席にお戻りください。

それでは、1回休憩とします。

(休憩)

●事務局

それでは、これから白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定に係る審査を開始いたします。

審査に当たり、事務局から留意事項を申し上げます。

まず時間ですが、審査は団体からのプレゼンテーションが30分、委員からの質疑が30分、合計60分とします。プレゼンテーションについては、団体の概要書、事業計画書、収支計算書の順で行い、必ず資料右上のページ番号をおっしゃってから説明してください。審査は事業計画書、収支計算書ごとに行います。よって、事業計画書等から逸脱したプレゼンテーションは、適正な審査ができなくなるため御注意願います。

また、事務局がベルを鳴らしましたら、終了5分前の合図です。2回目のベルで30分経過となり、そこでプレゼンテーションは終了となりますので、併せて御注意願います。

それでは、これより審査を始めます。プレゼンテーションは、会議室の時計で2時20分までとします。よろしくお願いします。

じゃあ、お願いします。

●日本メックス株式会社

皆様、こんにちは。本日はプレゼンテーションのお時間をいただきありがとうございます。ただいまより、日本メックス株式会社、プレゼンテーションを開始させていただきます。

まず本日の出席者、御紹介させていただきます。

私、本社担当責任者、〇〇と申します。

●日本メックス株式会社

〇〇〇、駅長をやっております、さらに今回、本案件の職員サポート及び業務の立ち上げ支援を行う〇〇と申します。

●日本メックス株式会社

本件、営業担当の〇〇です。

●日本メックス株式会社

それでは、御提案内容について説明いたします。

なお、ここからは着座での御説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。
まず、案件に関する思いについて、御説明させていただきます。

私たちはN T Tグループ企業であり、主に建物、施設の維持管理をなりわいとしております。P P P事業の一環として、地域施設の運営を実施してきた中で、地域との関わりを実感し、経験をもっと広げていきたいという思い、さらに、N T Tグループにおける、まちづくりに力を入れた企業方針の打ち出しという二つの動きに大きく後押しされ、地域共助の要である公共施設推進活動にもっと貢献したいという思いから、白井駅前センターへの応募を決意いたしました。

応募に当たり、施設の現状を調査いたしました。本施設は、様々な人が行き交う駅前、住宅、教育機関などがある中心都市拠点に位置し、幅広い世代の交流の要となる施設と認識しております。

しかし、白井市民住民意識調査報告書によると、生涯学習施設のサービスや学習機会の充実、人が集まれる場所の整備などが市民から求められていることが分かります。少し前のデータによると、本施設は、近隣の施設と比べると稼働率が低い状況ですが、立地条件がよいため、ポテンシャルがあると考えました。

また、利用者同士でコミュニティが形成されており、リピーターが多く、既にグループができており入りにくいといった意見も見受けられました。

以上のことから、私たちは、利用客層の拡大、施設稼働率の向上が大切だと考えました。それらを実現するため、複合施設の特性を最大限に生かせるよう、市民主体のにぎわいや若者世代を中心とした居場所づくりに尽力したいと思っております。

●日本メックス株式会社

それでは、4ページの団体の概要から説明いたします。

当社は、建物がある限りなくならないビジネスをメインとしており、設立から52年間、黒字経営を実現しております。

また、労務管理も徹底しており、2023年度には健康経営優良法人認定を受けました。当社は、社内制度により、7,685名が公的資格を保有し、利用者の安全・安心、個人の技術向上へも力を入れております。

また、くるみん認定やP R I D E指標など、様々な資格を取得しております。

16ページを御覧ください。

当社は、コンサルティング、工事、維持管理の御覧のバリューアップループで、建物の資産価値向上にワンストップで貢献し、建物の長寿命化を実現します。

17ページを御覧ください。

当社は、N T Tグループの建物、維持管理、保全業務で培った経験と技術をベースに、全国各地で様々な施設を管理しています。P P P事業においても、地域の皆様に愛される施設管理、運営を行っています。

次に、事業計画について説明いたします。31ページの管理運営の基本方針についてです。

なお、以後の説明資料は、事業計画書の内容をより分かりやすく表現するため、提案内容から逸脱しない範囲で図や表を用いたり、様式5－9、類似施設の運営実績での取組を紹介しております。

私たちは、本施設が四つの異なる施設から構成されていることを踏まえ、施設ごとの方針を策定し、住民の福祉の増進、公正・公平なサービスにつながるよう運営してまいります。

また、私たちは、白井市第5次総合計画の推進や施設の現状などを鑑み、御覧の四つの管理運営方針を定めました。

次に、32ページの市民サービスの向上方法についてです。こちらは様式5－6、143ページに記載の利用促進の図です。別様式の図ではありますが、私たちの提案全体を貫く重要な考え方ですので、より具体的な形で説明いたします。

私たちは、公の施設が誰でも利用しやすく、偏りなく平等であることが必要だと認識しており、既に利用している方々へのサービス向上だけでは不十分だと考えます。そこで、私たちは公平性を確保するため、事業計画書に記載の二つの方針を定めました。基本方針の下、市民サービス向上のため、御覧の三つのステップで、利用したことがない方も含めた多様な市民へのサービス提供、地域コミュニティの担い手が育つという施設の設置目的に貢献します。

市民サービスの向上計画策定において、未利用者へのサービスと既存利用者へのサービスは別物だと考えますので、ここでは分けて説明いたします。

まず、未利用者に対しては、いかに最初のハードルを下げ、新規利用者になっていただくか。また、既存利用者に対しては、満足度を高めてリピーターになっていただくか。これらの視点で、具体的なサービス向上策を説明いたします。

未利用者へのサービス向上策のポイントは、使ってみたい、面白そうだと思うような関心を喚起することです。特に不特定多数が利用する駅前であることを踏まえると、便利であること、様々な興味・関心に応えることが大切です。

私たちは、未利用者に対して、ハード面では入りやすい環境づくりや市民の不便を解消する設備の導入を行います。また、ソフト面では、興味を引くコンテンツや気軽に参加できるプログラムの情報を提供します。

なお、右上の四つのアイコンは、提案内容が四つの施設のどこに対応しているかを示しております。

既存の利用者へのサービス向上策のポイントは、便利になった、もっと活動したいと思うような環境、機会を提供することです。ハード面では、ニーズに応じた備品の更新、活動促進に寄与する環境整備などを行います。また、ソフト面では、様々な活動機会の提供、コミュニティづくりのサポートを行います。

次に、33ページ、利用者ニーズの把握方法と対応について説明いたします。

まず、私たちは、対象者の属性に応じた多様なニーズ把握を実施します。御覧のPDCAサイクルを実践し、利用者、未利用者のニーズや、地域のニーズを満たす継続的な改善活動を行い、市民から愛され続ける施設を目指します。管理運営水準のPDCAサイクルは、具体的には御覧の図のように回していきます。

なお、チェックの際は、判断ミスや職員による先入観などを防止し、迅速に対応するため、あらかじめ定めた〇〇〇に基づき評価します。その結果、ただちに改善できない事項については、市と協議の上、継続的な改善活動を行います。

次に、34ページ、自主事業の実施計画について、〇〇より説明いたします。

●日本メックス株式会社

御覧のとおり、各施設、利用者数に差があることや、居室ごとに稼働率が異なっていることから、幅広い世代に集い、市民のコミュニティ活動や連帯意識を醸成することができる複合施設の特徴を生かす事業が必要であると考えました。

白井駅前センターは、駅前という不特定多数の市民が行き交う立地にあることから、未利用者への利用機会を生み出すことが可能だと考えます。このため、未利用者が使いたくなる、訪れたいとなる様々な企画、利用者同士、接点を設けることができる魅力的な事業を実施し、より多くの多様な市民利用の喚起をいたします。

私たちは、新規利用者獲得と施設稼働率向上のため、未利用者が本施設を利用するきっかけとなる市民ニーズに応えた新規事業を企画します。

また、既存の実施事業は、さらなる利用者増加のため、利用者満足の高い事業などを継続し、アップデートしていきます。既に実施事業などで、本施設を利用いただいている市民の方々のサークル、団体などの設立、活動の支援も行っています。将来的には、地域で自律的なリーダーが生まれるコミュニティーを目指します。

新規利用者獲得のため、実施事業の主な主体は、私たちが中心となって実施をします。この自主事業をきっかけに、利用者の増加はもちろん、将来的には利用者同士でのサークル、団体がイベントを実施し、地域コミュニティの創出を推進します。

類似実績である〇〇〇では、〇〇〇で講演会を行い、その後、生徒自身が開発した商品の販売等々を行いました。

また、有志を募り、最初は施設の園芸活動を行っていた方々が、イベントでミニブーケの販売を行うなど、利用者が主体となって発案した活動を支援した実績があります。このように、私たちが培ったノウハウを最大限に発揮し、市民のコミュニティ活動や連帯意識の醸成をすることができる複合施設になるよう尽力いたします。

また、未利用者の中には、本施設で実施している実施事業自体を知らないという方も多くいらっしゃるかと思います。そこで私たちは、幅広い世代の未利用者に気軽に予約、参加ができる〇〇〇を推進いたします。

次に、施設ごとの特徴を生かした自主事業計画を説明いたします。

まず初めに、35ページの白井駅前センターについてです。

白井駅前センターは、公民館、児童館、老人憩いの家という異なる三つの施設を連携させる機能を担っています。そのため、各施設の利用者がお互いの理解を深めるため、施設の垣根を超えた様々な交流の場をつくることが求められています。自主事業では、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇などとの連携活動を重視していきます。

例えば〇〇〇や、〇〇〇、〇〇〇など、多くの市民が参加でき、施設の認知度を高める取組を行います。

次に、35ページ、6ページの白井駅前公民館についてです。

公民館は、実生活に即した学びを通じて、市民の健康増進や生活の質の向上に貢献する役割を担っています。そのため、白井市民が今、何を求めているのか、それに応える様々な事業を提供していきます。特に未利用者の関心喚起、特定の団体に偏ることなく、地域住民が交流できる場の提供、様々な世代が集う交流の機会の創出を図ります。これらの取組を通じて、これまで利用頻度の低かった施設の稼働率の向上を目指します。

具体的な企画としては、〇〇〇や、〇〇〇、〇〇〇など、新しい事業を取り入れます。

次に、37ページの白井駅前児童館についてです。

児童館は、次の世代を担う子供たちが健やかに育つよう、子供とその親への様々な支援を行う役割を担っています。自主事業では、子供に対して地域文化や職業への関心を高めたり、多様な世代との交流によるつながりの育成、こちらを重視いたします。

また、育児中の親世代には、横のつながりが感じられるイベントや、子育て支援のコミュニティづくりを支援します。〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇など、利用者の意見を取り入れながら様々な事業を企画します。

最後に、37ページの白井駅前老人憩いの家についてです。

老人憩いの家は、高齢者がいつまでも健康に生き生きと暮らしていけるよう、学びの機会やレクリエーションを提供する施設です。ほかの施設に比べると利用者数が少ないため、ここに来れば、日々の困り事が解消できたり、楽しみながら健康になったり、新しい出会いが生まれる、毎日訪れたくなる事業を企画します。

具体的には、〇〇〇、〇〇〇などを企画し、高齢者の知りたい、また来たいという気持ちを引き出します。

●日本メックス株式会社

次に、38ページからの緊急時の対応についてです。

緊急時に備え、関係各所との連携体制の整備や万全な体制を構築します。

また、地域の防災力向上のためには、有事だけでなく、平時からの地域との関係構築が重要です。日常的な訓練の実施や白井市地震ハザードマップの掲示など、自助、共助の地域防災力向上を図ります。

私たちは、様々な危機管理に対応した幅広いラインナップのハンドブックやマニュアルを作成しています。選定時には、施設独自のマニュアルを整備します。

また、万が一の事故に備えて、市の要求水準以上の年間包括責任保険に加入いたします。次に、143ページの利用促進の方法についてです。

私たちは、幅広い世代を含む多様なユーザーの利用を促すため、様々な施策を行っています。未利用者に対しては〇〇〇、〇〇〇、利用者に対しては〇〇〇、主催者に対しては〇〇〇、コミュニティーの創出に対しては〇〇〇を実施します。特に重要と考えるのが未利用者へのアプローチです。〇〇〇を通じて効果的に届く方法を実施します。

次に、144ページ、利用料金についてです。

現行と同様の料金設定とし、白井市の基準に基づき、減免対応も行います。さらに、幅広い世代への利用促進のため、〇〇〇の導入を検討いたします。

次に、145ページの管理運営経費の削減方法についてです。

長期修繕計画や様々な観点から、コスト縮減策を実施します。省エネルギー、CO₂縮減への対策は、二つの省エネルギー対策の観点からコスト縮減を図ります。

次に、146ページ、類似施設の運営実績についてです。

私たちは、東京都にある区民館を平成18年度から現在に至るまで、約18年間、指定管理者として管理運営を行っています。私たちは、維持管理会社ではありますが、事業計画書へ記載のとおり、道の駅、温浴施設など、指定管理運営実績があります。利用者へ寄り添った実施事業や広報活動などの利用促進活動に尽力し、コロナ禍で厳しかった業績を回復させることに成功しました。様々な利用者、地域で対応できるノウハウを本施設でいかに発揮できると考えています。

次に、147ページ、市内での市民活動実績とその活用についてです。

私たちは、白井市との連携実績があるN T Tグループの一員です。グループでは、〇〇〇などの実績があります。私たちを指定管理者に選定いただいた際は、N T Tグループで実施している地域活動を本施設へ誘致するとともに、グループの一員として地域活動へも積極的に参加いたします。

次に、148ページ、施設・設備の維持管理についてです。

当社は、全国で1万以上の維持管理実績を有しております。御覧の三つの方針を基に業務の実施計画を立て、本施設の維持管理を行います。施設・設備の維持管理に関しては、御覧の三つの施策、また、再委託に関しては、委託先選定条件を定め、市内業者の育成と市内経済活性化を図るため、可能な限り市内業者を活用します。

次に、149ページ、職員配置や研修計画などの管理体制についてです。

本施設の管理運営の執行体制は、御覧のとおりです。現地施設と本社が迅速に連携し、利用者サービスを円滑に行えるような体制を構築します。私たちは、本社担当責任者の〇〇〇、類似施設責任者であり、スーパーバイザーの〇〇が責任を持って、地域密着の採用と

健全な職場環境の創出を実現します。

また、職員の育成、研修を実施し、成長を感じられる魅力的な職場を提供します。

次に、153ページの個人情報の保護についてです。

私たちは、国際規格 I S O 27001を取得しております。規格に沿って厳格な情報管理体制を構築し、管理上知り得た個人情報を適切に保護、管理します。

次に、154ページのその他関係法令の遵守についてです。

本施設の関係法令及び関係規則に遵守し、適正な管理運営を行ってまいります。

次に、155ページ、特記すべき事項についてです。

私たちを指定管理者として選定いただいた際は、御覧の三つの取組を行います。

次に、収支計画について説明いたします。156ページ、収支計画書を御覧ください。

指定管理者収入は、毎年上昇していく見込みとなります。自主事業収入に関しては、初年度から最終年度で約〇〇〇万円の金額上昇を想定しており、支出に関しては、人件費を毎年度、約〇〇〇ずつ増額しております。

なお、収益が発生した際は、利用者の方々へ還元いたします。

財務状況については、413ページから415ページのとおりです。当社は、主な取引先がグループ内企業であるため、安定した業績推移となっております。

●日本メックス株式会社

御提案内容は以上でございます。

最後になりますが、地域に寄り添った指定管理者を目指し、総力を挙げて尽力してまいります。どうか私たちに御用命いただけますよう、よろしくお願いいたします。御清聴ありがとうございました。

●会長

プレゼンテーションありがとうございました。

では、ここから質疑に入りたいと思います。

では、委員の皆様から質問がありましたら、挙手の上で御発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いします。

●〇〇委員

御説明ありがとうございました。大きな企業さんのグループということもあって、いろいろな御経験おありなのだなと、感心して拝聴しておりました。

ただ、その中で、1点だけ確認をしたいのですが、関連するページでいきますと、4ページですとか5ページ、また、先ほど直前まで御説明をいただきました146ページ、あと、149ページ辺りなのですけれども、拝聴するにハード系の管理、これを今まで中心にやってこられたのかなと思っております。

そのような中で、今回、私どもで審査をさせていただくのが、ハード系以外の部分、例

えば児童館ですとか、ここに図書室みたいなものがあるのです。あと、老人憩いの家という福祉系といいましょうか、子供たちを相手にするような、そういうところも願いをする。そのような中で、有資格者が、この資料を拝見すると、ハード系のメンテナンスが中心の有資格者が多い中に、今回の募集要項の中でも、例えば司書ですとか、あと、社会福祉士、こういう職の配置もお願いしますという願いをしておりました。そこは今、現に、そういう有資格者の方がおいでなのかどうか。

加えまして、146ページになりますけれども、そういう運営の実績というのが区民館でしょうか、こちらではありますけれども、それ以外に、この資料では確認ができませんでしたので、そういうことでいうと、149ページ、具体的な方策の中で、職員の配置人数、資格。これは、今後こういう職を採用していくと、そういうお考えなのかどうか、この辺りについてお聞かせいただければと思います。

●日本メックス株式会社

ありがとうございます。

まず資格者については、司書とか児童福祉司については、実際に弊社に在籍はしていません。なので、今後採用する計画を当然取っているところでございますけれども、まずは協議会さんとも御相談させていただいた上で、何か御紹介いただけるのであれば、そこは御相談させていただきたい。それがなければ、弊社の社内で採用活動をしていきます。

また、グループ会社で図書館であるとか、そういった児童福祉施設をやっているグループ会社もございますので、そちらで今、現状保有している社員等で賄える部分があれば、そちらについても幅広く相談していきたいと思っております。

●〇〇委員

ありがとうございます。ということで、これまで児童館ですとか、こういう施設を受託した御経験というのはないということになりますか。

●日本メックス株式会社

はい、弊社独自ではございません。

●〇〇委員

分かりました。ありがとうございました。

以上です。

●会長

ありがとうございます。その他、御質問いかがでしょうか。

お願いします。

●〇〇委員

御説明ありがとうございました。〇〇と申します。

私も今、〇〇委員のほうが言ったことがすごく気になっていたのですけれども、今、現段階で、例えば常勤の職員というのは、大体この人になるとかというのは、想定はされて

いるのでしょうか。

●日本メックス株式会社

想定しているところがございます。組織図のほう、今、こちらで出させていただいているものに関しては、まだ本人に直接、いついつ行くよみたいなことでは、当然お話ししていないのですが、社内的には決めてというようなところでは考えております。

●〇〇委員

あと、人間的なものについて、もう一点なのですが、例えば予定されていたシフトに出られなくなるとか、そういったときの人員補填というのは、どういった感じで考えていらっしゃるのでしょうか。

●日本メックス株式会社

私自身は、〇〇〇のほうをやっているというのもありまして、当然コロナ禍は、そういったことが多々発生しました。基本的には、まずスタッフのほうで回せる範囲、回してもらう。

ただ、当然、収入のところですか、あと、有資格者のところ、そちらのところは、例えば代わりがきかないとかというようなときも実際に発生したのですが、何とかその辺りを私が実際に入ったりだとか、責任者のほうでカバーをしたりだとか、そういったことで賄って回していたというようなところになります。

また、こちらの体制にあるとおり、本社のスタッフも何かあれば駆けつけるという体制で、今現在も回しておりますので、コロナ禍も、〇〇〇のほうも、おかげさまで急に何日も閉めるみたいなことはなく行えたというような実績がございます。

●〇〇委員

ありがとうございます。

●会長

ありがとうございます。その他、御質問いかがでしょうか。

お願いします。

●〇〇委員

委員の〇〇と申します。どうも御説明ありがとうございました。

最後のほうの収支の関係での説明の中で、人件費を〇〇〇増という形でおっしゃっていたのですけれども、例えば昨今、人件費の伸びというのが非常に大きいですね。今日の新聞に、最低賃金5%アップじゃないかというような話がありましたけれども、その辺の想定外の人件費の伸びというようなものに対して、どのような対応を考えていらっしゃるのか、お考えをお聞かせいただきたいのですが。

●日本メックス株式会社

基本的なところで、まずお話しさせていただきますと、時給賃金の社員に関しましては、半年に1回面談をしております、その中で時給等についても、現状を鑑みて、上げる、

上げないのところは面談の中で相談させていただいております。〇〇〇という想定で今、上乘せしておりますけれども、これはあくまでも平均で、今まで最低賃金が上がってきたパーセンテージを適用しておりますので、これは最低賃金を割らないように、必ずその年々に合わせた形で上げていくということは実施しております。

●日本メックス株式会社

実際に、〇〇〇も同じような状況ではございますが、半年に一度の面談の際に、人事考課のほうも今、現地独自で行っております。その中では、当然、最低賃金が例えば30円上がったとか、50円上がったとかいうようなことが決まってくるプラス、人事考課によっては、さらに10円上がるよ、20円上がるよというようなことで、実際にそういった運用もしておりますので、やはり状況を見ながらというところと、本人の頑張り、そちらによって変えていくというようなことも実施しております。

●〇〇委員

ありがとうございました。

●会長

ありがとうございます。その他、御質問いかがでしょうか。

私のほうから少し質問させていただきたいと思います。まず実施事業のところ、資料ですと34ページですが、御提案3番目で、〇〇〇というのを提案されていますが、これについては、既に運営されている他のPPP事業のほうで、導入されているものがあるというような認識でよろしいのでしょうか。

●日本メックス株式会社

こちらについては、今現在、運用しているところではないのですが、実際に、ほかにスポーツ施設等々も弊社は扱っておりますので、その中で、特にプールだとか体育館だとか、そういったところを扱っていたところで導入実績がございます。

●会長

分かりました。ちなみに、その際のコストみたいなところというのは、どのように予想されていらっしゃるのでしょうか。

●日本メックス株式会社

月額幾らというような形で決まってくるものを導入予定で考えておるのですが、そこはある程度施設特徴にカスタマイズしていくようなところがありますので、その辺りも含めて、その金額でやっていくというようなところで考えております。

●会長 分かりました。ありがとうございます。

あと、同じ自主事業の範囲で言いますと、かなり多様な施設ごとにイベントを企画されていますが、この辺りというのは、こういった根拠で提案されているものになるのでしょうか。他の施設での実施事例があるというようなものが多いということでしょうか。

●日本メックス株式会社

そうですね。他の施設でやっている、〇〇〇自体がカルチャースクールをやっていました。コロナ禍で一度やめて、その後、別事業も入れるような形になってしまったので、カルチャー事業自体は実質廃止になってしまったのですが、それまでカルチャースクールをずっとやっていた実績がございます。一つの部屋で、大体〇〇〇教室ぐらい、内容としては、最盛期にはやっておりましたので、多種多様な企画もできるのかなというふうに思っております。

●会長

なるほど。ありがとうございます。

では、収支計算書ですと、自主事業の辺りというところで、5年間でかなり増収は見込んでいると。当初は導入したてということもあって、〇〇〇ほどですかね。公民館で〇〇〇、自主事業全体ですと〇〇〇というような、そんなわけですが、最終的には、これが〇〇〇規模の収入を見込んでいるということになるわけですが、この辺りも他の事業での収入、収支というものを鑑みての予想ということではよろしいでしょうか。

●日本メックス株式会社

はい。

●会長

分かりました。

あと、収支計算書のところでもう一点お伺いしたいのですが、支出の内訳のところ、分かりやすいところだと、令和7年度の収支計算書156ページですね。ここで人件費のほう、合計ですと〇〇〇なのですけども、この合計自体はいいのですが、内訳で常勤職員が〇〇〇、非常勤職員は〇〇〇という値を出していらっしゃるのんですけども、これがその後のページ、161ページのところに人件費の内訳表というのがあるのですが、この内訳表の恐らく小計と合わないと思うのです。

小計自体はないので、私のほうで計算したのですけども、常勤職員の合計が〇〇〇ではなくて、恐らく〇〇〇になるのです。一方で、非常勤のほうも〇〇〇となっていますが、〇〇〇ほどになる。内訳表のところの一番右、人件費合計というところを常勤と非常勤でそれぞれ合計すると、値が違っているの、どちらが正しい想定でいらっしゃるのかなというところをお伺いしたいところです。

●日本メックス株式会社

正解から申し上げますと、156ページから160ページまでの収支計算書のほうが正解と認識しております。内訳書のほうの小計が、もしかすると間違っていたのかもしれませんが。申し訳ありません。

●会長

そうなりますと、内訳表の記載よりも、常勤の職員の方は少し、金額的にはさらに下がるというイメージになるわけですか。

●日本メックス株式会社

その分、非常勤のほうに繰り入れる部分が出てくるかと思いますが、その入り繰りのところが間違っていたかもしれません。今ここですぐには確認できなくて申し訳ないのですけれども。

●会長

そうすると、常勤の職員の方の給与水準が、内訳表の時点でも結構低いなという印象を私自身は持っていました、これよりさらに下がるとなると、なかなか低いのではないかと、率直に言うと思うのですが。

●日本メックス株式会社

ただ、合計は合っているはずなので、申し訳ございません。

●会長

そうですね、合計は合っているのですけれども、具体的にいうと、常勤と非常勤の方で、一番左のほうに月間の勤務時間みたいなものも出ているわけですから、例えばこれで割り算すると、時給相当で幾らみたいなのって各自で出せるわけじゃないですか。比較すると、常勤より非常勤のほう恐らく高いのです。そういう計算になるのですけれども。

●日本メックス株式会社

すいません。

●会長

常勤の方の給与水準というのは、どのように決定されていらっしゃるのですか、この御提案ですと。

●日本メックス株式会社

そうすると、恐らく考え方が、〇〇〇と全く同じ形で考えていたので、基本的には常勤で、つまり1日〇〇〇時間で週〇〇〇回、週の〇〇〇時間勤務、こちらを常勤というか、社内的には〇〇〇社員という名で取扱いをして、その他、例えば扶養の範囲内で働きたいですとか、そういった週〇〇〇時間だとか、1日〇〇〇時間しか働かないみたいな形の社員を〇〇〇社員というふうに呼んでいるので、それが非常勤というような形で認識をしてやっているはずなので。

基本的には、もちろん〇〇〇社員よりも〇〇〇社員のほうが、いろいろな意味で待遇もよくなりますし、そういった形で、施設としてもなってもらっている方がほとんどなので、今すぐ、どちらで間違いというのが分かっていない状態ですが、そういった形では進めております。

●会長

分かりました。

あとは、単価的なものもそうなのですけれども、人員の配置に関して、もう少し後ろのページ、167ページ辺りを見ますと、児童館担当のほうの非常勤の方というのは、基本的

に夕方だけスポットで入ってもらおうというのを恐らく想定されているということでもいいのですかね。

●日本メックス株式会社

167ページですか。

●会長

はい、167ページのほうで、児童館担当のところを見ますと。

●日本メックス株式会社

そうですね。168ページにあるとおり、児童館担当は〇〇〇人おりますが、3列あって、〇〇〇だけ入る人間が。

●会長

ここが非常勤の想定でよろしいと。そうなった場合、もう一度161ページのほうに戻っていただくと、児童館担当の非常勤が〇〇〇名いると。一人一人が月間勤務日数〇〇〇日ですね。勤務時間〇〇〇というのが、1日当たり〇〇〇時間ですかね、で、働かれるというのを〇〇〇日やると、〇〇〇という扱いになるのですが、これですと、単純に考えて、〇〇〇掛ける〇〇〇すると、〇〇〇日という計算になるわけじゃないですか。〇〇〇日間賄えちゃう非常勤が雇われていることになるのですよ。月間勤務日数で〇〇〇日分の非常勤がいるって、どういう計算なのかなというのがよく分からなくて。非常勤が1日〇〇〇人、夕方の〇〇〇時間分必要なわけじゃないですか。あり得ないのですが、〇〇〇日フルに稼働する場合でも、半分ぐらいの人員でいいはずなのです。どういう計算で、この人数計算になっているのかなというのが、よく分からなくて。

●日本メックス株式会社

そうすると、すいません、この計算のロジックが合わなかった部分があったとしたら、誤記になってしまうので、その点に関しては、我々のミスになってしまいます。

●会長

そうですね。この点、御確認いただいてもよろしいですか。人件費の内訳もそうなのですが。

●日本メックス株式会社

承知しました。

●会長

ここの値を御確認いただきたいというところです。

●日本メックス株式会社

承知しました。申し訳ありません。

●会長

私からの質問は以上ですが、ほかの方、いかがでしょう、御質問等は。大丈夫ですかね。では、質疑のほうを終了したいと思います。

●日本メックス株式会社

ありがとうございます。

今、頂いた課題については、確認した上でお答えするという事でよろしいでしょうか。どうしましょう。

●事務局

後日。どうでしょうか。すぐに分からないですよね。

●日本メックス株式会社

今すぐというのは無理ですけども、申し訳ありません。もしその機会、ないというのであれば仕方ないところだと思うのですが、ここは実際には確認したいところではございます。

●事務局

もう今日の選定になるので、選定には、正しい情報がない状態で選定していただくような形になるのですけれども、後日、結果が分かってからになるのかもしれないのですけれども、それ、したいということであれば。ただ、資料も。

●会長

恐らく人件費に関するところが入ってくるので、指定管理料の金額検査にも関わってきちゃいますから、現段階では、この値が正しくない可能性があるという点を踏まえて審査した上で、後日修正がある場合は、修正の情報を送っていただいて、それを基に、もし決まったら、指定管理料は再計算したほうがよろしいかと思います。

●事務局

分かりました。

●日本メックス株式会社

ただ、金額的には変更がないような形になるかとは思いますが、そこは今おっしゃったような形で、ありがとうございます。

●会長

大丈夫ですかね。

●事務局

大丈夫ですか。分かりました。

取りあえず、選定は今の情報でやるという形にはなりますね。

●会長

それしかないかなと思います。

●事務局

そうですね。ありがとうございました。以上をもちまして、日本メックス株式会社の審査を終了いたします。長時間の説明、審査、大変お疲れさまでした。

では、これで以上になりますので、応募団体の方は退室してください。

●日本メックス株式会社

どうもありがとうございました。

●日本メックス株式会社

ありがとうございました。

●日本メックス株式会社

どうもありがとうございました。

●事務局

じゃあ、そこから。ありがとうございました。

●日本メックス株式会社

ありがとうございました。失礼いたします。

●日本メックス株式会社

失礼いたします。

●事務局

それでは、これより休憩といたします。10分間休憩します。2時50分までにお戻りください。よろしくお願いします。

(休憩)

●事務局

それでは、これから白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定に係る審査を開始いたします。

審査に当たり、事務局から留意事項を申し上げます。

まず時間ですが、審査は団体からのプレゼンテーションが30分、委員からの質疑が30分、合計60分とします。プレゼンテーションについては、団体の概要書、事業計画書、収支計算書の順で行い、必ず資料右上のページ番号をおっしゃってから説明してください。審査は事業計画書、収支計算書ごとに行います。よって、事業計画書等から逸脱したプレゼンテーションは、適正な審査ができなくなるため御注意願います。

また、事務局がベルを鳴らしましたら、終了5分前の合図です。2回目のベルで30分経過となり、そこでプレゼンテーションは終了となりますので、併せて御注意願います。

それでは、これより審査を始めます。プレゼンテーションは、会議室の時計で3時25分までとします。

それでは、よろしくお願いいたします。

●ワーカーズコープ・センター事業団

それでは、白井駅前センターに関する御提案を開始させていただきます。労働者協同組合、ワーカーズコープ・センター事業団の〇〇と申します。

●ワーカーズコープ・センター事業団

〇〇です。

●ワーカーズコープ・センター事業団

〇〇です。本日はよろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、提案を行います。本日は、提案の機会を頂き、誠にありがとうございます。

まず4ページの様式4、団体概要について御説明いたします。

我々、特定非営利活動法人ワーカーズコープは、平成13年9月に設立されました。その後、令和2年12月4日に参議院本会議にて、労働者協同組合法が全会一致で可決し、令和4年10月に施行され、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団と名称変更となりました。我々の法人は、地域に必要な仕事を、働く人たちが組合員となり、主体となり、ワーカーズコープのような働き方が新たに誕生いたしました。基本原理といたしまして、組合員が出資をし、意見反映を行い、そして働くことが基本となります。

次に、ワーカーズコープ・センター事業団が大切にしている理念を御説明いたします。市民、利用者との協同、地域との協同、働く者同士の協同を大切にしております。今、地域の人と人とのつながりは希薄化しております。孤立や孤独を感じている市民も少なくはありません。当法人は、この三つの協同を心がけ、利用者をお客様として扱うのではなく、地域を担う仲間として信頼関係を築いていきます。そして、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを、この三つの協同を運営の主体とし、そして中心として行ってまいります。

続きまして、事業内容について御説明いたします。

法人全体としては、子育て関連事業が多くを示しております。続いて、高齢者、障害者、自立支援相談も、公共にとって必要不可欠な事業となっております。行政サービスにつきましても、市役所の出先機関の役割を果たすべく、市民の様々な困り事や相談に乗る機会も多々ございます。市民にとって、より近い存在のセンターであることを心がけて、市民の様々な意見を聞いて反映させていきます。この事業の実施形態や相談業務のノウハウを活用しながら、公共施設の運営にも生かしております。

こちらの写真は、千葉県内の事業を紹介しておりますが、全国的に様々な事業を展開しております。今、写真に映っておりますのは、浦安で運営している学童保育でございます。明海小学校内にございます。

続きまして、こちらは、松戸地域福祉事業所あじさい内にてデイサービスの事業を行っております。そのほかにも、松戸では学童保育であるとか、困窮者の就労支援準備事業、あと、障害者の就労の機会を得る多機能の事業を行っております。あとは、子供たちに向けて学習支援の事業も行っております。

続きまして、我孫子市ファミリーサポートセンター、こちらは、市民からなる提供会員

と利用者をファミリーサポートとして行っております。

最後に、こちら千葉物流事業所と申しまして、コープさんと協同組合間提携で、一緒に事業を行っております。

ほかにも様々な事業がありますが、代表としては、一応こちらに書いてあるとおりでございます。

次、お願いします。

●ワーカーズコープ・センター事業団

続きまして、事業計画について御説明させていただきます。

様式5の1、5ページを御覧ください。

こちら、管理運営の基本方針として五つの項目が挙げられておりますが、基本的はスライドにありますようなワーカーズコープが提唱している総合福祉拠点、みんなのおうちを目指すというのが、広く捉えると目標となっております。

みんなのおうち拠点というのは、地域の皆さんの困り事や、やってみたいという気持ち、もったいないという気持ちを集めまして、それを基にいろいろな事業を展開し、皆さんの居場所をつくっていく、そういった拠点づくりのことでございます。このような拠点をつくることによって、幅広い地域のニーズに応えることができると考えております。ワーカーズコープでは、実際にこのような、みんなのおうち拠点を幾つも運営しております。この駅前センターがみんなのおうちとして機能していくような、そのような運営を心がけていきたいと考えております。

続きまして、市民サービスの向上方法について御説明させていただきます。こちら、6ページを御覧ください。

先ほど申し上げました、みんなのおうち構想ですが、こちらは、そもそも白井駅前センターに求められる機能と、かなり重複していると思っております。白井駅前センター、公民館でそもそも持っている、知る、学ぶ、集う、参加する、結ぶの五つの機能を重視しながら、皆さんのやりたいことを応援し、身近な暮らしの相談機能、地域情報の発信、共有などを行っていききたいと考えております。

続いて、利用者のニーズの把握と対応方法について御説明させていただきます。7ページを御覧ください。

先ほども少し申し上げましたが、ワーカーズコープは、大変話し合いを重視している法人となっております。こちらにあります四つの項目のサイクルを重視しておりまして、まず最初に、利用者さんからの会話やアンケート、日々の職員の気づきをたくさん取り上げてまいります。それを日誌などの形で記録いたしまして、会議やミーティングの機会を多く設けることで対話を行い、合意を形成してまいります。そして、それを職員や利用者のボランティアの力で実行し、その実行したことが受け入れられているか観察し、それにより新たな気づきを得るという、このサイクルを回してまいります。それによって、より利用

者のニーズを把握した運営を実現できると考えております。

続きまして、自主事業の事業計画について御説明させていただきます。8ページを御覧ください。

ワーカーズコープは、今まで駅前センターの指定管理者として運営を実施してきましたので、その実績に基づき事業計画を立てさせていただきました。

まず、白井駅前ミュージックフェア、輪音ですが、こちらはバンドミュージックを通して地域の皆さんの交流を図ります。チャリティーライブを行い、地域の皆さんの地域理解を深めます。チャリティーの寄附先ですが、いろいろ地域に役立つところに寄附をまいりまして、例年でいいますと、白井駅前のイルミネーションに寄附を行ってまいりました。

白井駅前センターフェスティバルでは、センター利用者が日頃の学習成果を発表いたします。また、そのほかにも、児童館で交流できる場や、地域の商店が商品を展開できる場を設けまして、より多様な交流を実施してまいります。

続きまして、児童館を中心に展開する事業になります。みんなであそぼうでは、様々な遊びや工作を通じて、保護者が子育てについて気軽に話せるような場をつくりまして、悩みや不安を共有しながら、孤立を防ぎ、子育てを支援していく、そういった事業になっております。

続きまして、トライアカデミーものづくり教室では、工作を通して様々な学年、学区の小学生たちが交流を図ります。また、講師は地域ボランティアが務めますので、そういった形で、異世代との交流も深めることができる事業となっております。

続きまして、ライフサポート講座です。こちらは、市民の悩みや不安を解消するような知識を得る講座となっております。本年度でいうと、介護保険を知る講座を行いまして、昨年度は、制度が新しくなったN I S Aの講座を開催いたしました。このような知識を市民が得ることによって、生活を豊かにし、自助、共助の意識を高めることを目的としております。

次に、おはなし会ですが、こちらは市民ボランティアが読み聞かせを行う事業となっております。図書を通じて物語の楽しさを味わい、季節を感じることで皆さんの交流を深める、そういった事業となっております。

続きまして、緊急時の対応について御説明させていただきます。9ページを御覧ください。

緊急時の対応、危機管理に関しましては、基本的に法人の危機管理マニュアルにのっとり対応いたします。また、白井市の地域防災計画を踏まえ、防災、消防訓練を年2回実施してまいります。また、職員の中には2名の防火管理者を設置するようにし、防災を強化してまいります。また、新型コロナウイルス流行時のような緊急事態発生時には、市すとか、コロナの場合は保健所といった関係機関と連携して、対応に当たっていく予定であ

ります。

続いて、利用促進の方法について御説明させていただきます。10ページを御覧ください。

利用促進の方法として11項目を挙げさせていただいておりますが、特に重点的に今後実施していきたいのは、3番のホームページの活用、ブログの更新と書かれることに代表されているICTを活用した広報活動であります。

こちらが現在行っているブログと、駅前センターのYouTubeチャンネルになります。こちらの活用を続けていくのに加え、今後はX、InstagramといったSNSの活用も実施していきたいと考えております。同法人が運営している西白井複合センターでは、既にこのSNSのアカウントを持っておりますので、そちらを参考に、駅前センターのほうでもSNSを取り入れていきたいと考えております。

●ワーカーズコープ・センター事業団

次に、様式5-7、11ページの利用料金についてですが、現行どおりとして、適宜市役所や他館と調整して決定したいと思います。

次に、様式5-8、12ページの管理運営費削減については、駅前ボランティアの方々に盛り上げていただき、運営に協力していただいています。

また、施設の節電、節水など、無駄のないように心がけて、毎月配慮して運営費を確認していこうと思います。

御覧のスライドで、大学生のボランティアは、幼い頃から児童館を利用した方です。この方だけでなく、幼少の時期から児童館を利用し、成人になってもセンターを利用している方は珍しくありません。

余談ですが、この前、近くの公園でけがをした児童がいて、近くに大人がいなく困っていた友人が、すぐにセンターに来て職員に助けを求めるなど、子供の心の中は、当センターを常に頼るほど大きな存在です。子供が大人になっても当センターを頼ってくださいます。これからも、すばらしいこの循環を大切にしていきたいと思います。

次に、様式5-9、13ページの類似施設の運営実績ですが、市内でも利用者が一番多い西白井複合センターや、昨年度より新たに指定管理として市民活動をつなぎ、広げている、しろいまちづくりサポートセンターがあります。また、白井の3センターのほかにも、千葉県内だけでなく、全国の公共施設などで運営し、連携しています。

●ワーカーズコープ・センター事業団

続きまして、市内での市民活動の実績と、その活用について、こちら、市民との協同というタイトルで紹介させていただきます。14ページを御覧ください。

今まで駅前センターでは、バンドチャレンジ、輪音などの音楽活動に力を入れてきました。こちらは、長年市民と共に活動してきた活動として、講師、参加者共に市民の力を借り、成り立っている音楽活動になっております。

また、物語クリエイターは、小学生が自ら物語を作り上げる講座であります。こちら、

コロナ禍のために一時中断しましたが、どのような発表方法がふさわしいか、コロナ禍の間に模索をいたしまして、Y o u T u b e チャンネルで映像作品として物語を発表することに最終的にいたしました。しろいフィルムコミッションを基に撮影場所を探し、このような地域の神社ですとか総合公園などで撮影を行い、地域性のある作品に仕上がったと考えております。

左下の子育てサロンおあしすは、その名のとおり、おあしすという市民団体さんによって運営されている白井駅前センターで実施されているサロンになります。こちら、おあしすの皆さんが手作りのケーキを用意したり、読み聞かせや手遊びを実施してくれまして、子供から高齢者まで、様々な世代の方の利用者が集っております。

ここまでの白井駅前センターでの市民との共同活動になりまして、さらに市内では、ほかにもいろいろな活動を市民の皆さんと一緒にっております。例えば、ともしびの夕べ i n 白井では、紙灯籠に、子供たちに絵を描いてもらいまして、被災地の復興支援の思いを込めて飾るイベントをしております。

また、西白井複合センターでは、梨の実ひろばというサロンを実施しておりまして、こちらは市民主体のサロンとして、西白井複合センター職員と協力しながら、多くの方が集う憩いの場となっております。

●ワーカーズコープ・センター事業団

次に、様式5-11、15ページの施設、設備の維持管理ですが、毎日の朝と夕に職員が清掃をしています。清掃と同時に点検も行い、異常の有無を確認しています。また、定期的に専門業者へ委託もして、より深く管理しています。

次に、様式5-12、16ページの管理体制ですが、募集要項に提示された配置を基準とし、安全に運営、必要な人員を配置し、組織全体の会議や外部も含めた研修に参加し、課題に役立てています。

次に、様式5-13、17ページの個人情報の保護、様式5-14、18ページの関係法令の遵守ですが、個人情報の保護や関係法令については、全職員にコンプライアンスの遵守を徹底し、利用者也職員も安全で快適に過ごせるように運営していきます。

●ワーカーズコープ・センター事業団

続きまして、特記すべき事項として、19ページを御覧ください。

いま一度、私どもワーカーズコープの特性について、こちら、活動解決への挑戦、市民と共にというタイトルで御紹介させていただきます。

今までいろいろなことを話してまいりましたが、ワーカーズコープの魅力はなかなか一言では伝わりにくいものかと思います。何度か申し上げておりますとおり、私たちは話合いの組織であり、市民と共に話合いを通じて合意を形成し、共に歩んでいこうと考えております。

今、地域ではいろいろな課題があるかと思います。少子高齢化、人口減少が始まって久

しく、また、地域関係の希薄化、自治会の役員不足がそれによって引き起こされております。このような人手不足が起こりますと、災害時の連携などにも心配が起こるようになります。まして、さらに少なくなった若者たちが活躍できる場があるのかとか、少なくなった子供たちが健やかに成長することができるのかといった、そういった心配も現在、地域ではあるかと思えます。

そのような問題について、私どもワーカーズコープはどう取り組んでいくかということなのですが、やはりここは対話ということで、日々の利用者との会話から解決のヒントを探りたいと考えております。我々は、施設に来てくださった利用者の皆さんと気軽に、どうしようかと、これからどうしたらいいだろうかと言合えるような関係をつくっていきたいと思っております。決して派手なものはない組織だと思いますが、何となくそこに行く楽しいというような拠点をつくる、そういったことについては、いろいろ実績のある組織だと思っております。何となく行く楽しい、居心地がいい場所をぜひつくっていきたいと思っております。

そして、地域課題というのは、なかなか解決は簡単なものではないと思っております。我々は安易な解決は求めず、課題を抱え続ける強さを持って、市民の皆さんと共に、解決できる糸口を探っていきたいと思っております。

まとめますと、つまりは、市民主体の施設運営を目指していきたいということになります。市民の皆さんが考え、市民の皆さんと共に行動し、市民の皆さんの夢がかなうような、そういった施設運営を行っていきたいと思っております。

そのために、具体的に今どのような取組を行っているか、御紹介させていただきます。

まず白井市内ですが、こちら、左上の写真が、実際に会議を行っている、センターフェスティバルでの会議の様子です。こちら、いろいろ、ジャンパーなどを持ち込んだり、実物を持ち込んだりしまして、皆さんが納得できる話合いを心がけて、分かりやすい話合いを心がけております。

また、左下は、南山小学校学区まちづくり協議会、現在はまだ準備会なのですが、そちらにも参画させていただいておりまして、自治会の皆さんや地域の皆さんの現在の課題を共に共有しております。

また、右側は、南山中学校学校評議員会の資料になります。こちら委員として参画しておりまして、子供たちの抱える悩みですとか、取り組んでいる活動について広く知りまして、このような話合いを総合的に経ることで、地域課題の解決を模索しております。

次に、法人としてどのような取組を行っているか紹介させていただきます。

左手は佐倉市中志津自治会の様子になります。こちらは担い手不足の解消のために、自治会自らがワーカーズコープを立ち上げました。これにより、自主的に運営を行い、より豊かな自治会活動を繰り広げております。

次、その下ですが、実際にみんなのおうちを運営している、印西市、らんかの様子にな

ります。こちらは指定管理などではなく、独自の拠点としてみんなのおうちを展開しております。このような市民主体の拠点を通じて、地域の皆さんが生き生きと活動しております。

また、右側ですが、こちらは中村哲医師の映画上映会を実施していた、そのときのポスターになっております。令和4年12月に、くしくも労働者協同組合の組合法が制定されたと同時期に、この中村哲医師がアフガニスタンで凶弾に倒れたことは、記憶に新しい人もいらっしゃるかと思います。その働き方は、この協同組合に大変通じるところがありまして、その働き方を市民の皆さんと知ること、働くということについて、共に学ぶ場を設けております。

続きまして、収支計算書について御説明させていただきます。

様式6-1になります。ページとしては年度ごとに分かれておりますので、20ページから39ページになっておりますが、こちら、まとめまして、基本的な方針について御説明させていただきます。

基本的には、令和5年度の白井駅前センターの決算書を基に予算を算出しております。ただし、近年物価の高騰が起こっておりますので、そちらを考慮いたしまして、一部につきましては、実績より増額して計上しております。

また、人件費に関しましては、最低賃金が近年、二、三十円程度、1年当たり上昇しておりますので、それを踏まえて、1年当たり30円程度上昇すると仮定し、非常勤講師の時給を加算しております。常勤職員に関しましては、2年ごとに賃金の見直しを行い、こちらを加算しております。

ワーカーズコープからの御提案は以上となります。御清聴ありがとうございました。

●会長

御説明ありがとうございました。

では、質疑のほうに入りたいと思います。

では、委員の皆様、質問等ございましたら、挙手の上で御発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いします。

●〇〇委員

御説明ありがとうございました。〇〇です。

何点かあるのですが、まず今、御説明の中でも出てきたと思うのですが、地域の課題という言葉が出てきたのですが、今、実際に駅前センターでの地域の課題というのは、どういったものだとお考えでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

今は特に、小さい子供たちがどんどん減少しているという、これが一番課題として痛感しております。今までですと、同等のことを行えば60人ぐらい集まっていたものが、20人

ぐらいしか来ないといった、そもそもの人口減少も痛感しておりまして、そのような絶対数が減っていく中で、どのような子供たちのコミュニティづくりがふさわしいのかといったことを現在模索しているところであります。

●ワーカーズコープ・センター事業団

あと、補足でいうと、やはり地域の担い手の方が減少しているというか、あるところにはいないというところもあって、自治会自体の運営自体が難しくなっていると。

駅前センターも、先ほど申し上げたとおり、南山小学校区内でのまちづくり協議会のほうに参画しておりまして、その中でも、この協議会自体も、開いたのはいいものの、じゃあこれから先、担い手の人がいるのかどうかというのが不安になっている。特に60代、70代の方が中心になってきているというところで、10年後、20年後の持続可能なまちづくりというものが、今、模索どころか見えなくなっているというところが、課題としては感じております。

●〇〇委員

ありがとうございます。

すいません、もう一点、自主事業なのですけれども、多分、前年度、その前はコロナとかで実施できなかったものとかもあると思うのですが、目新しさが感じられないなという、見る限り、するのですが、その辺で、マンネリ化しているかなという感じが否めないのですけれども、本当に新しいことを何かやってみようかとか、そういったお考えはございますでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

一つは、もっとSNSの活用としまして、Y o u T u b e チャンネルが現在、滞ってはいるのですが、もっと事業、市民の参加に加えまして、こちらから発信するような形で、施設紹介ですとか、そういったことも映像として行っていきたいと考えております。

また、今年度は、それこそ派手ではないかもしれませんが、館内ツアーという、簡単に館内を案内する催しを始めまして、こちらはまだまだ参加してくださる方は少ないのですが、参加される方の傾向としまして、全く駅前センターに今まで来たことがないという方がちょこちょこ参加して下さっています。ですので、そういった気軽に参加できたり、気軽にアクセスできるといったことに焦点を当てまして、今後は事業展開をもう少し考えていきたいかなと考えております。

●ワーカーズコープ・センター事業団

また、補足させていただきますと、コロナ禍が明けて、まずは前の活動ができることということが逆に新鮮だったりとかする場合もあったりして、まずは、できなくなったことをできるようにしようというところがあります。なので、目新しさは感じないかもしれないのですけれども、イベントについては、今やっと当たり前が戻ってきたのかなというところはございます。

それにプラスして、若い人たちの居場所であるとか、そういうイベントはこれから増やしていかなくちゃいけないですし、また、子供たちに向けたイベントも増やしていかなくちゃいけないという課題といたしますか、これは予定がございます。それは、まだこれから子供たちにも聞いたり、そして、果たして20代、30代の方々のニーズというのが、レクホールの利用はおかげさまで多いのですけれども、その他のコミュニティづくりのきっかけづくりというものも、20代、30代、40代に向けてやっていきたいと思っております。

以上です。

●〇〇委員

ありがとうございます。

すみません、もう一点だけ。ページでいうと22ページの人件費の内訳表のところでお伺いしたいのですが、⑨、⑩、⑪とかの児童館担当の非常勤講師のところ、その他のところに金額がありまして、24ページのほうに、遊学時給差分という項目で金額が挙がっているのですが、これはどういったものなのでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

遊学という職員に関してなのですが、こちらは夜間に開館している、5時以降、5時から8時までに、夜間も駅前センターでは児童館を開放しているのですが、そちらを担当する職員になります。ですので、夜間の担当であることなどを含めまして、日中の非常勤よりやや増額される表記でお願いしておりますので、その分の時給差がここに加算されております。

●ワーカーズコープ・センター事業団

内容といたしましては、ただの居場所ではなくて、学習支援も行うものですから、教えられる職員の方も確保するというところで、時給の差プラス、なっております。

●〇〇委員

そうすると、単純計算で、例えば9番の方の基本給のところ、そこで月間勤務時間というのを割ると、かなり時給は安くなってしまうと思うのですが、そこはどうなのでしょう。

●ワーカーズコープ・センター事業団

こちら遊学担当の方に関しましては、週3回程度の勤務になっているのと、それから、昼間の勤務時間としてはかなり短く、遊学の時間がメインになってきますので、基本給としましては、月換算、年換算にしますと少なめの金額になっているかと思います。

●会長

質疑を引き継ぐ形になるのですけれども、御趣旨は分かるのですけれども、遊学時給差分を入れて、ようやく多分、最低賃金を上回るぐらいになっていると思うのですが、算定の根拠が、特に基本給が何でこんな低い水準なのかというのがよく分からなくて。

今の御発言、御回答の内容ですと、基本給の時点で既に最低賃金が、普通の非常勤の方

と同水準で、かつ、遊学担当の方というのは、夜間ですとか教育的な側面もありますから、それにプラスする形で、この時給差分というのがあるというような立てつけであれば理解できるのですけれども、あまりそうになっているようには見えないというところがありまして。特に基本給のかなり低さというのは、何か要因があるのかなというのが、もしお伺いできればと思った次第なのですが、今のお答えいただいた以上の答えがないということであれば、特に御回答は大丈夫です。

●ワーカーズコープ・センター事業団

ほかの非常勤職員でいいますと、1日当たり8時間働いているのですが、遊学担当ですと、1日当たり3.5時間の勤務になっておりまして、こちらに書かれているのは月收入、また、それを12倍した年収になっておりますので、月収や年収として換算すると、1日当たりの労働時間の短さからこのような額面になるということで、最低賃金は上回る状態で雇用しておりますし、さらに、それに遊学手当がついているという状態にもなっております。

●会長

例えば、⑨の児童館担当の方、令和7年度を見ていただくと、基本給〇〇〇となっています。そのすぐ左、見ていただくと、30時間、月間勤務時間が予定されているとありますよね。そうなりますと、〇〇〇を30で割ると〇〇〇なのです。分かりますよね。時給〇〇〇というのは、どう考えても最低賃金を割っていると思うのですが、どういう計算なのかなというのが我々の質問の趣旨になっています。

もちろんこれに、その他のところで遊学时給差分というのを加算した後の〇〇〇になりますと、最低賃金は上回っているのですけれども、今の御回答とはちょっとずれる内訳になっているのかなと理解していますので、その辺のずれを聞いている感じです。

●ワーカーズコープ・センター事業団

大変申し訳ないのですが、算出した積算の根拠になる資料を今、手元にないもので、もししたら、こちらの記載を誤ってしまったか、もしくは、すいません、今、把握できていない算出根拠があるかでして。

ただ、実態と申し上げましては、最低賃金は決して下回っていないということですので、こちらの表記の不整合に関しましては、申し訳ないと言えないところではあります。申し訳ありません。

●ワーカーズコープ・センター事業団

遊学で単独でやっている人よりも、要は連結しているわけでしょう。連結しているわけなので、遊学単独ではなくて、実際に遊学に関わっている時給の人は、日勤で働いている人よりも実際に高いのです。それで、例えば何時まで、5時から8時の間が遊学、それから前は公民館の職員という形で、遊学単独でやっている人というのはいないのですよね。いるんだっけ、単独。そこで、業務が違ってくるので、実質は時給が、遊学のほうが。

●会長

上がっている。

●ワーカーズコープ・センター事業団

上がっているのです。だから、流れとしては、例えば6時間働いている人だったら、3時間は公民館の仕事、3時間は遊学の仕事という形で切り替わっている。例えば5時から8時までの間は遊学という形で、それ以前は、公民館の業務という働き方が多いということですね。

●会長

大丈夫ですかね。

分かりました、ありがとうございます。

その他、御質問いかがでしょうか。

では、お願いします。

●〇〇委員

御説明ありがとうございました。ここまで長きにわたって受注されていて、いろいろと御苦労もおありなんじゃないかと思います。

そのような中で、施設そのものの管理運営というのはあまり差がないと思っていて、やはりこちらで、どうしてもポイントとして見させていただくのは、例えば様式の5—6、ページでいきますと10ページですとか、先ほども委員から御指摘があった部分で、その前のページの8ページ辺り、自主事業、この辺りはどうしても見てしまうわけなのですけれども。ふだんおやりになっっていて、例えばもう少し利用者を増やしてみたいなといったときに、ぱっとすぐにできること、ないしは、これまでにこういうことをやったら非常に人が集まってきたなど、そういうような何か実感というか、つかみといいましょうか、そういうのって何かございますか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

白井駅前センターは、昨年度にN I S A講座というのがいち早く開催いたしました。白井市内のセンターの中でも二つぐらい開催していたうちのひとつだと思います。そのようなはやりの新規の講座で人数をたくさん増やしていききました。

企画力としては、よく利用者さんから言われるのは、企画力の駅前だね、明るさと広さの複合だねと、よく言われています。企画力は結構あると思うのですけれども、これからN I S Aがはやるかどうかというのは、また疑問ですが、これからもいち早く時代のほうにマッチしたものを取り入れて、今後も世の中の流れを敏感に対応していきたいと思います。

●ワーカーズコープ・センター事業団

あと、補足でよろしいですか。ハード面なのですけれども、やはりトイレですね。トイレの改修といいますか、なかなか和式を、例えば高齢になるとしゃがめなかったりとか、

子供たちも和式の使い方が分からないお子さんの中にはいらっしゃるところもあったりして、我々の経費の中でウォシュレットもつけようかという話もしたのですけれども、電源がなかったりとかして、つけることはできるのだけれども、電源をどう取るかという話をしたりとかって、トイレの不便さというのは、なかなか利用されている方も申し上げにくいところでもあったりとか、でも和式は使いづらいよねとか、そういう話は出ておりまして、複合センターに関しては、洋式もウォシュレットも多く取り入れていただいておりますので、トイレの問題は、これからも協議に入っていくのかなというところはございます。

●〇〇委員

ありがとうございました。確かに、今、御指摘のN I S Aですとか、お金面といえ、関心のない人ってあまりいないでしょうから、そういうのに力を入れるというのは、すごくよく分かりました。

そこで、特に力を入れていきたいということで、ホームページだったりとか、ブログだったりとか、SNSだったりとか、こういったところだということで、確かにそうなのかなと思いますが、別にそれは、既にそんなに珍しいことでもない、特に、ちょっと嫌な言い方をすれば、何も改めて言うほどのものでもないのかなという気がするのですけれども、その辺り、あえてこの辺りを前面に出してきたというのは、何か事情といいましょうか、御利用される方々との日頃のやり取りの中で、特に感じたり、そんなことがあったのでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

こういったY o u T u b e ですとかSNSの活用に関しまして、活用方法、直接につながることはないかもしれないのですが、結局、コロナ禍を通じまして、ライバルがそうしたY o u T u b e とか、そういったものになってしまったということを痛感しているというのが実感としてあるのです。

今まで講座などを行う際に、地域の皆さん、地域の講師の方が教えてくださって、それにいろいろな人が来てくださるという仕組みがあったのですけれども、でも、Y o u T u b e で、プロの方が簡単料理を教えてくれるのを見ればいいじゃないかみたいな、そういった流れが強く、この頃感じられまして、そういった軸を持ちつつ、じゃあ我々は何を発信していけばいいんだろうねって、それは模索中ではあるのですが、そういった軸を踏まえた上で、我々はSNSをどう活用するのかとか。

それと通じることなのですが、結局、子育て世代のお母さんたちとかも、ここで相談とかもいろいろ挙げましたが、自分たちでL I N E グループとかで困り事を共有して解決しているという事実があるということを聞いておりまして、じゃあ我々は、それを踏まえてどうしたらいいのだろうというのが、今、直面している課題としてあります。これに対してどうアプローチしていくかというのは、これからなのですが、そういった対抗軸を、

強いライバルとしてのSNSがありつつ、じゃあ我々、どうしていこうかって、そういうことを強く感じているのもありまして、こういったことを事業計画に挙げさせていただきました。

●ワーカーズコープ・センター事業団

補足をさせていただきますと、そういう、今、〇〇が申し上げたとおり、SNSであるとかというものを活用する場が公民館なのかなというのがあります。やはり公民館というのは、人と人が触れ合って、出会う場であったりとか、そういう困り事を生身の人間に問いかけることによって安心感が生まれたりとか、パソコンを何台導入しようと、タブレットを何台導入しようと、そういうのというのは、市民の方が自宅でもできることでもあります。

あくまでも我々がSNSを活用するというのは、そこでの発表であるとか、活動であるとかというものをSNSとかYouTubeとか通じて見ることができるというところであって、やはり公民館というのは、人と人が集う場所というのは基本にしているので、これから目新しいことということが、そういうSNSであるとか、ICTに頼るべきことなのかということ、まだこれから議論の余地はあるのかなというふうに我々は思っております。

●〇〇委員

ありがとうございました。

●会長

ありがとうございます。ほかに質問等、いかがでしょうか。

では、お願いします。

●〇〇委員

委員の〇〇です。10ページのところに、(7)で地域包括支援センターとの連携ということで、利用促進の方法についてという項目の欄で、項目が載っているのですが、実態として、地域包括支援センターとの連携というのは、どういった形で行われているのですか。もしくは、どういったことがあったのか、その辺を教えていただきたいのですけれども。

●ワーカーズコープ・センター事業団

例えば毎日、センターのほうに通っていただけている高齢者の方がいて、突如来なくなるということがたまにあります。親族の家に行かれるとか、そういうこともあり得ると思いますが、来なくなったときに、安否が心配になりまして、細かい高齢者の情報を持っていないので、地域包括支援センター様のほうにお声かけさせていただいて調べてもらっています。その後、所在がつかめたことを聞いて安心することがあります。そのような連携を取らせていただいております。

ふだん、いつも顔見ている方が突如顔見せなくなると、やはりセンターとしても心配に

なり、先ほど〇〇のほうから言いましたが、人と人との触れ合いを気にしながら、そのような対応をさせていただいております。

●〇〇委員

その辺のところに、今、気づかれるというところは、長年、実際に経験値をもって、あと、地域の住民と触れ合っているから分かるのでしょうかという形で、非常に理解できます。

そういった上で、先ほど説明の中で、いわゆるまちづくり協議会ですか、の関係で、大分自治会もなく、だんだん担い手がなくて、苦慮していらっしゃるというような御発言があったのですけれども、自治会とかそういったものに対して、ワーカーズコープさんのほうではどういった関わり合いをもって、まちづくりの中に参画していこうというふうなものがあるのか、基本的な考え方というのがありますでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

自治会さんは、まずセンターを普通に利用していただいている利用者さんでもありまして、まちづくり協議会の中では一緒に話を重ねている仲間でも、現在あります。やはりセンターというところが、いろいろな各自治会さんたちをつなぐ場にもなっていて、いろいろな情報がセンターに集まってくるので、そういった自治会さんの間をつなぐような形で、いろいろな情報提供をいたしましたり、場合によってはコーディネート的な、こういった形にこのようなことをしたらいいんじゃないかといったことを御提案させていただいたりして、自治会と自治会をつなぐような役割として、今は地域では活動しているかと思います。

●ワーカーズコープ・センター事業団

また補足なのですけれども、先ほど佐倉の中志津のところもあったのですけれども、最初、一番困っているのが、自治会費が集まらないというところの相談があったのです。何で自治会費が集まらないのだろうというところかというと、やはり集金業務というのが非常に、一件一件歩いて回っているというところがあって、それを細分化したほうがいいんじゃないかとか、もしくは自治会費、退会される方も増えていたので、例えば隣の自治体と合併したりとか、そういうのを繰り返しながら、何とか自治会というものが動くように、何とか運営しているというのが今、現状なのです。

本当に脱退する方、転居されても入らない方というのが多いので、となると、小さいとか、一つ一つのコミュニティーが隣と手をつなぎながらやっていくしかないという、今、現状もあります。それを今、まちづくり協議会等に我々も入りながら、そして、まちづくりの懇談会としても、これは千葉県内だけではなくて、茨城県内でもやっていたりしているのが今、現状です。必ず地域の方も入れて、現状把握して行うというところが多いです。

あとは、交通インフラが既に断たれている自治体もあって、白井もバスあるのですけれども、既にそういうバスすら廃止されているというところもあって、結局、移動手段がな

いという自治体もあったりするので、そういうことは自治体とも連携しながらやっていかなきゃいけないことも、これからは出てくるだろうというふうに感じております。

●〇〇委員

先ほど〇〇委員のほうから、情報発信ということで、SNSは今更、特段取り上げてもというような話があったのですが、逆に一番基本的な、地域で人を集める、そういった場所じゃないですか。自治会とかそういったものは、利用しようとかいったことは、あまり考えたことないですか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

今、現状も、自治会の方に声かけたりはしているのです。そこら辺の説明を。

●ワーカーズコープ・センター事業団

まちづくり協議会の準備会などに出席しますと、まず、その場でいろいろな発信とか、センターでのイベント、催し物なども広報活動を行うことができますし、自治連合会の方にお問い合わせがある場合は、直接のお願いなどをすることもあります。そういった情報の発信などに関しましては、まちづくり協議会の準備会でいろいろ任せてもらうことも、今までありました。

●〇〇委員

実際に、地域に何か情報を発信しようとしたら、結局、自治会も全部ピラミッド組織になっちゃっていて、そこで単に言葉だけで発信しても、全然駄目なのです。各自治会で、各班ごとに回覧回してくださいということで、散らすだけでも全然違うので、そういったような部分にも、少し目を向けていただければなというふうに感じています。

●ワーカーズコープ・センター事業団

すごく参考になるような御意見ありがとうございます。ふだん自治会様とは、年に自治会様は総会をやられるので、そのときに来られたときに、いろいろなところでコミュニケーションを図らせていただいております。今、こういうふうに自治会様と交流するときに、回覧板とか、そういうのを回してということ、アドバイス頂いたので、ぜひ今度、複合でもやりたいと思っています。ありがとうございます。駅前でも、もちろん参考にさせていただこうと思っています。

●ワーカーズコープ・センター事業団

実際には、センター間の、内で情報共有をして、センター内での情報共有は、イベント等、できているのですが、なかなか自治会単体と、先ほど連合会の話が出ましたが、それはこれから課題として残っておりますので、そこも早急に行う所存でございます。

●会長

ありがとうございます。

最後に私からも、時間も押していますので、簡単なところで少し御質問したいのですが、

これは今回の提案というよりは、現在の運営のところで少しお聞きしたいのですけれども、先ほど伺ったところによると、令和4年度、5年度で、人員配置について、非常勤や常勤の人員を何名か増員しているというふうに伺ったのですけれども、これはどういった理由によるものと理解すればよろしいでしょうか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

すいません、令和4年から5年への増員。

●会長

3年から4年度かな。人件費が〇〇〇ほど上がっていて、その辺りの内訳としては、非常勤の方や常勤の方が一、二名増員されているというふうに先ほど伺ったのですが、この辺りは何かあったのですか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

3年から4年ですと、センター長がまず兼務状態だったのですが、それが駅前センターの選任のセンター長が定まったことや、あと、遊学担当者を2名で配置していたのですが、2名ですと、欠員が起こったときに、なかなか代理の者が1名では不安定になるということで、3名で回すようにしまして、そういった点で人件費が増えたところがあると思います。

●会長

分かりました。

あと、もう一点だけお伺いしたいのですけれども、最新の2024年3月31日までの損益計算書、141ページのところに載っているのですが、これの一番下のほうに、契約損失という項目で〇〇〇ほどの損失が入っているのですが、これについては、基本的に、昨年ありました東京都のほうの人員配置の不適正があったというような、あの辺での契約の解除なんかでの損失と考えてよろしいですか。

●ワーカーズコープ・センター事業団

今、御指摘いただいたとおり、違約金や清算金が発生したというところでございます。それで特別損失として、〇〇〇余り生じたことになります。こちらの説明も、してよろしいですか。

●会長

簡単に、何かあれば。

●ワーカーズコープ・センター事業団

純損失につきましては、余剰金処分によって、前期繰越余剰金を取り崩す処理を行っております。繰越余剰金は、その後も〇〇〇余り保有しておりますので、今のところ経営には影響は及ぼしていないというところでございます。

●会長

分かりました。ありがとうございます。

その他、御質問いかがでしょうか。大丈夫ですか。

では、質疑は以上になります。プレゼンありがとうございました。

●ワーカーズコープ・センター事業団

ありがとうございました。

●ワーカーズコープ・センター事業団

ありがとうございました。

●ワーカーズコープ・センター事業団

ありがとうございました。

●事務局

ありがとうございました。以上をもちまして、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団の審査を終了いたします。長時間の説明、審査、大変お疲れさまでした。

では、応募団体の方は退出してください。

●ワーカーズコープ・センター事業団

失礼します。

●ワーカーズコープ・センター事業団

ありがとうございました。失礼します。

●ワーカーズコープ・センター事業団

どうもありがとうございました。失礼します。

●事務局

これから採点及び委員間の討議をお願いいたします。

なお、討議については、自らの採点結果を明かすことのないように、質疑や討議をいただきますようお願いいたします。採点表は、申請団体名に緑のマーカーをつけたものが日本メックス株式会社で、ピンクのマーカーをつけたものがワーカーズコープになりますので、お間違いのないようお願いいたします。

●会長

では、採点に当たりまして、委員間で討議したいことがありましたら、挙手の上で発言をお願いいたします。

最初に財務的なところを少し御説明しますが、まず日本メックスさんのほうについては、基本的に問題はないと思います。NTT傘下ということもありまして、企業規模的にもかなり大きいですし、財務諸表的には、1点だけ気になったのが、〇〇〇という規模で、直近3年で長期借入金短期借入金になって、また、その借換えみたいなことを行っていたりというところだけ、ちょっと気になっていたのですが、借り先を見ると、NTT傘下のNTTファイナンスのところから来ているということなので、グループ会社から資金としては引っ張れているということもありまして。

これの意味するところとしては、仮に資金繰りの危ないみたいなのが、もしあったと

しても、グループから資金が出る可能性があるというところで、安全性的には結構高めと
考えていいのかなというところですね。

資産なんかの内訳としても、日本メックスさんの場合は、建設業を結構営んでいますの
で、建設の代金の未収みたいなのが資産としては大きいと。一方で、負債のほうも、
短期の買掛金みたいなのが大きいということなので、基本的にはその辺のサイクル
がうまくいっていれば大丈夫だと思いますという形ですかね。損益的にもそこまで、これ
はというようなところも私からは見られなかったので、日本メックスさんのほうは、財務
的には、特に問題はないんじゃないかなというところですね。

一方で、ワーカーズコープさんですけども、こちらは、問題があるかと言われれば、
特にはないです。こちらの場合は、現金預金、特に預金の形で、普通に現生がかなり積ま
れている状態です。総資産の半額に相当する分ぐらいが現金及び預金という形で積んで
あると、預金としてあるという形になりますので、基本的には、負債なんかを全部返して
も、普通にお釣りが来るぐらいの現金自体はありますので、直ちに倒産みたいなことは恐
らくないでしょうし、去年の人員配置の不適正みたいなのを受けて、今年度は損失を
計上してはいますが、それを抜くと、基本的に各案件ベースでは、利益が出ているという
ところを積み重ねているというのは見てとれますので。

あとは今後、この不適正な人員配置というところで、今年度、来年、再来年という形で、
案件がどのぐらい落ちてくるかというところが肝になってくるかなというところですか
ね。いずれにしても、直近5年ぐらいであれば、よほど、今まで取れていた案件の8割ぐ
らいが今年度から取れないみたいなことにもならない限り、問題はないかなとは思いま
す。

あとは、気になる点としては、先ほど不適正人員配置というところで、指定管理を受け
ているところに対しても、報告が不適正だったという件について、第三者委員会の報告書
みたいなのが上がっていたので、それもネットで見えたのですが、それによると、今回
の件の基本的な根本原因が、全社的なガバナンス意識の低さみたいなのが指摘され
ていたもので、会社全体として、そういうコンプラ系の意識が低いという企業なのかなとい
うところは、ちょっと気になりましたかね。

ただ、その辺は、財務的なところとはあんまり関係はないので、企業体質的にちょっと
どうかなと。そういうのって、変えますとってすぐ変わるかといったら、別にそういう
ものではないので、ちょっと懸念かなというぐらいですかね。

2社に対する財務的な所感としては、以上になります。

あと、何かありますでしょうか。

●○○委員

ワーカーズコープさん、若干ですけども、私の私見なんですけれども、マンネリ系の
感覚が否めないなと。

●会長

そうですね。新規性はあまりない提案だったかなとは思います。

●〇〇委員

地域包括支援センターの関係も、わざとあそこに書いてあるから、すごいことやっているのかなと思ったら、大したことなかったのが現状なので。

●会長

結局、利用促進とはあまり関係なかったですしね。

●〇〇委員

いろいろプレゼンとして出していくものにも乏しくなって、無理やりいろいろ突っ込んでいるのかなという感じが、ややありました。

●会長

ちょっとありましたね。

●〇〇委員

日本メックスさん、児童館とか複合センター的なものの実績がほぼないというところが、気になるっちゃ気になるところ。

●会長

区民館レベルでの実績はあるので、そういう意味では、自主事業とかは期待はできるかもしれませんが、根本的な人員配置ですとか、欠員ができたときの代替要員をどう確保するかみたいなところをどのぐらい具体的に考えているかというところが懸念的かなと思います。

●〇〇委員

あと、人件費の部分。

●〇〇会長

そうですね。人件費が、日本メックスさんのほうは。

●〇〇委員

でも、これって点数をそのまま、今、日本メックスさんとか、抑えてあるじゃないですか。

●会長

ただ、一応、人件費の総額としては合っていたので、そこは変わらないのですが、児童館担当の非常勤の方が多いというので、むしろ下がる可能性があります。だから、順位的に逆になるということはないと思うのですが、どっちかというところ、もうちょっと人件費払ってくれていいんだけどなみたいな感じはありますね。

しかも、人件費内訳表の常勤の方の記載よりもさらに下がるっぽいので、現状では、管理責任者の方はそれなりとはいえ、それ以外の常勤の方、〇〇〇円で、さらに下がると言われると、なかなかしんどいんじゃないかなと個人的には思うのですが。

●○○委員

もし人がスライドするにしても、しんどいですよね。

●会長

絶対下がりますからね、現状より。ちょっとかわいそうじゃないかなとは思いますが、それ以外の提案的には、かなり充実していましたし、あと、特に日本メックスさんのほうは、現状の利用者アンケートとかの公開情報から、どの層が利用者的に少なくてとか、どういう意見が来ているから、こういうのが必要だと思うみたいなのが、かなり根拠としてしっかりした提案がされているんじゃないかなとは思ったので、かなりサービスの期待ができるんじゃないかなと思うのですが、どうでしょうね。

●○○委員

すごく難しい。

●○○委員

付度なしで点数を入れていくしかないか。

●会長

そうですね。

●○○委員

1点確認したかったですけれども、日本メックスさんのほうで、利用料金の支払いとかで、キャッシュレス決済とかもということをおっしゃっていたのですが、実際にそれって可能なことなのか。

●生涯学習課

P a y P a y を独自で、コミプラの負担で導入しています。

●会長

コミプラの負担で。

●○○委員

ありがとうございます。

●会長

採点はいかがですか。終わりました。では。

●事務局

それでは、採点表を回収いたします。委員氏名に漏れがないか確認をお願いします。
では、これから15分間の休憩にしますので、4時35分にお戻りください。

(休憩)

●事務局

それでは、集計結果がまとまりましたので、事務局から審査結果について報告させてい

たきます。

1 番目の申請団体の日本メックスさんについては、総評価点数が406.6で、15番の部分については27点ということですので、1人5点以上の20点を超えていますので、合格になります。

2 番目の申請団体のワーカーズコープさんについては、総評価点数が384.6点で、15番目の部分については23点ということですので、最低の20点を超えていますので、合格となります。

従いまして、今回の審査の結果、日本メックス株式会社が第1位、ワーカーズコープ・センター事業団が第2位となります。

以上となります。

●会長

ありがとうございました。

では、主な選定理由の決定を行っていきたいと思います。何か御意見ありますでしょうか。今回は新規なので、前回のは使えませんが。

●〇〇委員

自主事業が充実しているみたいな。

●会長

そうですね。現行利用者の声を反映した新規自主事業が多数提案されているみたいな感じですかね。

●〇〇委員

あと、新規利用者についても、獲得をすごく言っていたので、新規利用者。

●会長

新規利用者の獲得ですかね。獲得を目指した施策が多数提案されている。施策ですかね。

●〇〇委員

自分の中でポイント、大きかったのはキャッシュレスかな。

●会長

キャッシュレス。

●〇〇委員

それは市の施策とも合致してきますし、加えて予約システムの、どんなものかよく分からないですけども、そういう新しさを感じたというのが。

●会長

そうですね。予約システムやキャッシュレス決済の導入など、利便性向上の話ですよ。

●〇〇委員

だから、利用者目線、視点、利用に。

●会長

利用者目線に立った、具体的な利便性向上の。

そうですね。向上のための提案がされているで、一回書いときますか。

2番目の話とも、ここはオーバーラップするところですね。

あと、NTTグループとしてのノウハウがどれくらい期待できるのかというのは、ちょっとありますね。基本的に、一番期待しているのは自主事業なので、ここでもうちょっと書きたいのですけれども、三つ出したほうがいいですよ。

●事務局

そうですね。

●会長

全部相互にかぶっているところではあるのですよね。どうしようかな。

●〇〇委員

これは、本筋ではないのかもしれませんが、今、会長がまさにおっしゃられていたNTTグループとしての強み、特に古い施設なので、ハードのメンテナンスなんかは非常に、施設との関連性だったりとか。

●会長

ハード面での維持管理業務に対して、企業としてのノウハウの活用が期待できるみたいな感じですかね。

●会長

ハード面での施設の維持管理に関して、企業としてのノウハウの活用が期待できる。2番目と3番目は合わせましょうか。キャッシュレス決済、予約システムの導入などの。

●〇〇委員

提案や新規利用者の獲得を目指した施策が多数という。

●会長

どっちも結局提案なのですよね。具体的な利便性向上のための提案がなされており、新規利用者獲得が期待できるとかですか。

あとは、1番目、どうしようかな。

●〇〇委員

もうちょっと字面を増やしたいですね。

●会長

ちょっとあっさりしていますよね。僕もそこが一番期待しているので、頑張ってくださいよという話をしたいのですけれども。現行利用者の声を反映したの後に、施設ごとに特色のあると入れましょうか。施設でいいんだっけ。施設でいいのか。

●〇〇委員

施設で間違いはないですね。

●会長

自主事業で収益化しようとしている姿勢は、すごい好感が持てました。大体〇〇〇ぐらいのオーダーの売上げを出して、多少なり、経営としてプラスの存在にしようとしているというのがあるので、それをどう書くかというのはあるのですけれども。

●〇〇委員

利用者に還元するとかと言っていましたね。

●会長

言っていましたね。

●〇〇委員

新規、自主事業計画という、まだ計画が。

●会長

そうですね、計画が。どうしようかな、別にこれでもいいといえはいいのですが。

●〇〇委員

この後に収益化の話って、つなげますか。

●会長

つなげたさはあるですが。

5年間にわたって自主事業の規模を、どうしようかな。これでもいいですが。

確かに、十分反映はできていますね。

いいですかね。どうですか、分量的には足りそうですか。

●事務局

大丈夫だと。

●会長

大丈夫ですか。これでいいですかね。じゃあ、これでいきましょうか。

では、以上のこれらの3点を選定理由とした上で、答申案をまとめていく形でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、議題2です。この白井市白井駅前センターの指定管理者の候補者の選定について、候補者が決定いたしましたので、議題2を終了いたします。

次第に従いまして、4、その他、事務局から何かございますか。

●事務局

答申案につきましては、内容を今まとめていただきましたので、次回8月6日の審査会にて、答申として決定していただきたいと思います。

今後の白井駅前センターの選定スケジュールは、8月下旬に答申を基に市の決定、11月下旬に12月議会に提案、12月中旬議決、1月から8月、協定書の協議、締結、令和7年4月1日から指定期間の開始となります。

次回、第4回の審査会につきましては、8月6日火曜日、13時15分から、本日と同じ本庁舎4階、大委員会室での開催を予定しております。白井駅前センターの答申案、白井コ

コミュニティセンターの選定及び答申案について御審議いただきます。後日、会議録の確認をお願いすることになりますので、大変お手数ですが、よろしくお願いします。

事務局からは以上となります。

●会長

ありがとうございました。

1点だけ、先ほど委員間の話合いでもあったのですが、今回、前回と、収支計算書と内容が違うんじゃないかみたいな話、人件費に限らずですけども、そういうのがありましたので、そういう事前に提出された収支計算書と実態が違うというか、ミスがあるみたいな場合に、評価点の問題とか、支給される指定管理料がどう決まるかみたいなところについて、別に次回までに決めろというわけではないのですけれども、検討しておいたほうが恐らくいいだろうなと思うので、少し御検討ください。

●事務局

かしこまりました。承知しました。

●会長

では、以上ですかね。

それでは、これをもちまして、令和6年度第3回白井市指定管理者選定審査会を閉会といたします。お疲れさまでした。